

令和 5 年度

国臨協関信支部
神奈川地区会
会報誌
第 74 号



令和 6 年 6 月発行

会長挨拶

～ 会報誌第 74 号発行に寄せて ～

関信支部神奈川地区会長
NHO 相模原病院 武山 茂

相模原病院の武山です。今期より神奈川地区会の会長を務めさせていただいております。
神奈川地区会は 6 年前に事務局長、20 数年前は理事として務めさせていただき私にとって宿縁と感じている地区でございます。特に現施設の相模原病院においては、29 年前に職員としてスタートした施設であり懐かしく思い勤務しております（私がいたころと検査科のある棟は少しも変わっていないのです...）。

以前、相模原病院ある方が「人生はロールプレイングゲーム。今の相模原病院ステージはいきなりラスボスが出てくるような所ですが、無事クリアして次のステージを目指すだけです。」と言っておりましたが、現在は NO ボンビー状態になりつつあります。

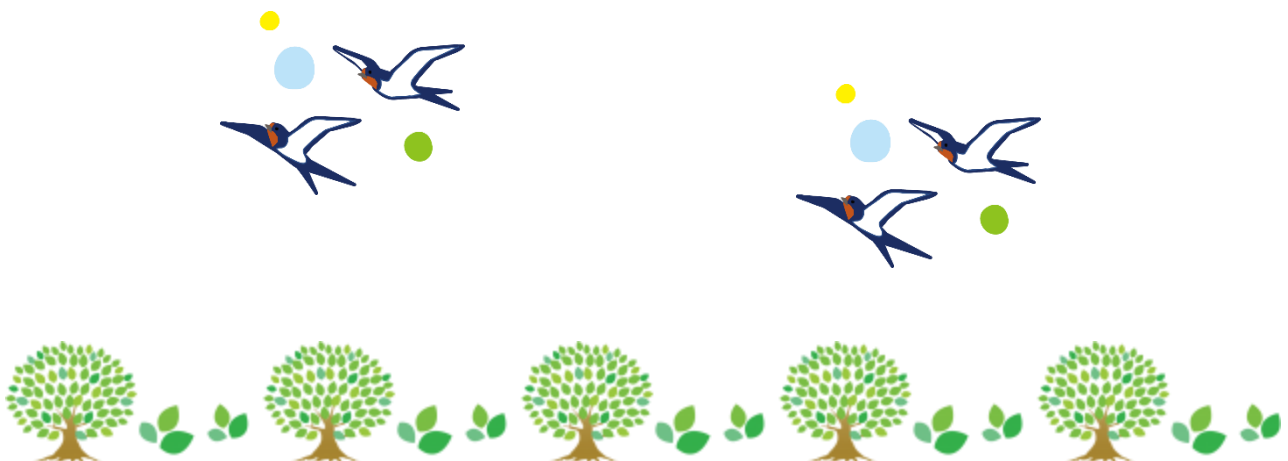
私の好きな名言に「過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と自分自身だ」という言葉があります。カナダの精神科医エリック・バーンの言葉です。うまくいかなかった過去に執着し、他人の言動に怒りを感じても、それは自分にはどうすることもできないこと。人は考える能力を持っているため、自分自身と未来をより良いものにするためには自分の捉え方を変えポジティブにすることです。私は新天地で勤務する時はいつもこの言葉を思い勤務しております。

さて、2023 年 5 月に新型コロナ感染症は第 5 類に移行し、感染状況も落ち着きついており、全国的にも他地区でも集合型の開催に戻りつつあります。

今期は、神奈川地区会においてもアフターコロナを見据えながら会員相互の繋がりを大切に、地区会施設間会員の情報交換および共有化を図るべく、レクリエーションや知識、技術の向上を目指した研修会、総会を集合型で開催したいと思っております。

役員一同準備を進めてまいりますので、会員の皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。是非とも会員のさまのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の皆さまのご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



新会員の挨拶

NHO 相模原病院

「自己紹介」

NHO 相模原病院

山本 伸晃



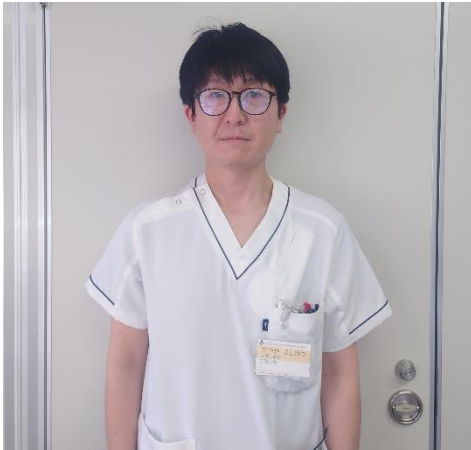
令和 6 年 4 月 1 日付で NHO 東京医療センターから副臨床検査技師長へ昇任で参りました山本伸晃（やまもとのぶあき）と申します。東京都杉並区生まれの埼玉県育ち、現在は足立区に住居を構え相模原病院まで通勤しております。私が今まで勤務した施設は国立国際医療センター（現在は国立国際医療研究センター病院）、東京医療センター、千葉医療センターで相模原病院は 5 施設目になります。皆様に自慢できるような趣味はございませんが、子供達が手を離れてしまったので、休日に愛犬（ペキニーズ 4 歳）と一緒に近所をお散歩することが日課となっており、時間があるときは代々木公園や駒沢公園まで足をのばし愛犬ともどもリフレッシュをしております。

相模原病院は日本に 2 か所しかないアレルギー中心拠点病院の一つです。2017 年 4 月に日本のアレルギー疾患対策拠点病院に指定されました。法律によりアレルギー診療のみならず、研究や研修などの中心的役割を担うように定められています。難治性のリウマチ・アレルギー疾患患者さんを多数抱え、その内科的治療や整形外科のリウマチ患者さんに対する人工関節手術、皮膚科のアトピー性皮膚炎診療、小児科における世界最多の食物アレルギーの診療実績には高い評価を受けており、当院の大きな特色の一つとなっています。検査部門でも全自動アレルギー検査装置 Phadia250 を 2 台設置し、患者サービス向上の観点から約 130 種類のアレルギー項目を院内検査として導入し当日報告に努めております。私は国立病院に入職してから主任時代も含め 18 年間、東京医療センターでお世話になり、社会人としてひとつ成長することのできた大切な場所です。いまは技師長をはじめ多くのスタッフの方々に支えられながら何とか日々過ごしておりますが、今までのご指導を糧に相模原病院に一日でも早く貢献できるよう精進してまいります。また、初めての神奈川地区会となります。会員の皆様に定期総会・研修会、レクリエーションでお会いできる日を一日も早く楽しみにしております。どうぞよろしくおねがいいたします。



「自己紹介」

NHO 相模原病院 手塚 好之



4月1日より東京医療センターから相模原病院に赴任いたしました手塚好之と申します。

新任での検体検査主任として初めての施設ですので、わからないことばかりで四苦八苦しております。

相模原病院は日本に2か所しかないアレルギー中心拠点病院となっており、リウマチ・アレルギー疾患に関する診療・診療研究施設として位置づけられています。そのため院内検査でアレルギー検査を実施していることに驚きました。春休み時期でのアレルギー検査の多さを目当たりにし、これからの業務に対して心が引き締まる思いをしました。

相模原病院は小田急線、小田急相模原駅から徒歩20分程度に位置しており、駅から一直線に病院まで伸びる道、サウザンロードがあります。サウザンロードは昔ながらの商店街で、多くの飲食店があり活気にあふれています。

また病院の近くに人気の中華屋があり、チャーハンが大盛で有名だそうです。まだ足を運んでいませんが、散策がてら色々なお店に行ってみようと思っております。皆様にお会いした際はおすすめのお店を紹介できるようにになりたいです。

新型コロナも5類となり、対面での活動が可能となりました。神奈川地区会の参加は初参加となりますので、早く皆様と顔を合わせ、神奈川地区会の一員として活動していければと思っております。

「自己紹介」

NHO 相模原病院 逸見 桃香



本年度より配置換えで相模原病院に参りました、逸見桃香（へんみももか）と申します。

昨年度までは2年間日本医療研究開発機構(AMED)に出向しており、難病を対象とした再生医療等製品の研究開発支援を行っていました。その間パソコンを使った事務仕事をしていたため、検査業務から2年間完全に離れており、現在少しずつ思い出しながら検査を行っている状況です。

出身は埼玉県川越で、観光地として有名な時の鐘や蔵造りの街並みには自転車で行ける距離に実家があります。

趣味は旅行です。コロナ流行前は年1回程度のペースで海外旅行に行っていましたが、コロナ禍になってからは主に国内旅行に行っています。(写真は小豆島に行ったときのものです) 旅先で綺麗な景色を見たり美味しいものを食べることが大好きなので、もしおすすめの旅行先がありましたら教えていただくと嬉しいです。他にもスポーツ観戦やBBQなど盛り上がるイベントが好きで、友達や家族とは大抵そのようなイベントと一緒に参加して過ごしています。

ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、早く新しい環境に慣れるように頑張りますのでどうぞよろしくをお願いします。

NHO 横浜医療センター

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター

齊藤 友永



4月1日付で千葉医療センターより赴任いたしました齊藤友永と申します。名前を【ともなが】、【ゆうえい】など間違われますが正しくは【ともり】と読みます。覚えていただけると嬉しいです。生まれも育ちも千葉県袖ケ浦市で実家の近くには近年有名になりつつある千葉県にあるのに東京ドイツ村があり、関東に住む方なら千葉県を旅する際に一度は訪れるであろう羊の行進、子豚のレースでお馴染みのマザー牧場も近所さんです。千葉に遊びに行く予定のある方はぜひ一声かけていただければ千葉の名所、隠れた穴場をご紹介します。趣味は見た目の期待を裏切らない食べ歩きです。「上手い食べものは上手いお酒と共に」をモットーに色々なところへ出かけております。神奈川県でおすすめの

ところがあれば是非ご紹介してください。もう一つ、これは見事に見た目を裏切っているでしょうか？クラシック、ジャズなどの音楽鑑賞です。特にピアノの音色が子供のころから好きでピアノを中心とした演奏会やCDを聞いております。特にジャズはお酒を飲みながら演奏を聴けるところが多いのが良いところです。つまり音楽が好きというか正確にはお酒を飲み酔っぱらいながらピアノの生演奏を聞くことが好きということになります。どちらの趣味もお酒が絡んできて誠に恥ずかしい限りです…。赴任して3週間余りですが横浜医療センターの皆様にご助けられ何とか業務を遂行できております。今年からは国臨協の活動が集合式になることが多くなると思いますので神奈川地区会の皆様とお会いできること楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター

上田 大晴



令和6年4月1日よりNHO横浜医療センターに新卒で採用となりました上田大晴と申します。専門学校を卒業して病院での初めての就職となりました。慣れない事が多く大変ですが、職場の先輩方に日々教えていただきながら少しずつ慣れてきました。出身は埼玉県の秩父で山に囲まれた自然豊かな土地で育ちました。現在は横浜医療センターの近くで一人暮らしをしています。趣味は剣道、旅行、お酒を飲むことです。一番好きなお酒はビールで、特に旅行先で地ビールを飲むのが最高で旅行にいくといつも友達と飲みすぎてしまい、旅行二日目は二日酔いになることがお決まりになっています。神奈川県にも有名な観光地がたくさんあるの

で、旅行して神奈川県でもおいしいお酒を飲みたいと思っております。剣道は、小学生から続けていました。地元では団体に所属して子供から大人まで混ざって稽古していました。神奈川県でも機会があれば剣道を続けたいと思っております。ご迷惑をかけることも多々あると思いますが、一生懸命頑張りますので神奈川地区会の皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

NHO 神奈川病院

「自己紹介」

NHO 神奈川病院 古江 裕志



この度、4月1日付で国立病院機構神奈川病院 副臨床検査技師長に配置換えで着任しました古江 裕志（ふるえ ひろし）と申します。

出身は埼玉県春日部市、自宅は能登の震災で液状化激しい新潟市西区、前任施設は群馬県草津町の国立療養所栗生楽泉園です。今回のご縁により、日本海側から本州を南下、群馬県を中継して神奈川県へあまりの振り幅に、驚きと諸先輩方からのたくさんの慰めのお言葉をかけていただきました。神奈川県に住むのは初めてで、山に囲まれた自然優美な秦野は、出現する動物の種類以外、前任地と違和感があまりありません。（鹿と遭遇済みです）山の天気のせいでしょうか？ 秦野は今のところ1度も晴れの日が無く、富士山もまだ見ておりません。晴れない新潟の冬、群馬の透き通る関東晴れに続く、神奈川の天気模様が楽しみです。4年間も雲上の涼しい草津の天上界に居たため、下界の酷暑に老体が耐えられるかが心配です。

特技と言えるかわかりませんが、走るよりも普段から歩くことが好きであり苦に感じないタイプです。子供頃にはボーイスカウトで重い荷物を背負って毎年60kmハイクで夜通し歩かされ、沼田時代は、スキーの体力づくりのために火山段丘の坂を上り下りし尾瀬にも数回行きました。新潟時代は車で呑むと必ず深夜バスを逃すので自宅まで信濃川の堤防（やすらぎ堤）を2時間かけて歩いて帰っていました。草津では自宅に戻らない休日に、町内を2時間ぐらいかけて散策します。昼間は観光客ばかりなので不審がられないのが良いです。神奈川病院は高台にあり丹沢等もあるので怪我をしない程度にハイキングでもしてみようかと検討中です。

会員の皆様は、栗生楽泉園に寄ったことはありますか？観光地として草津温泉は、有名ですが、町の東側の標高1000メートルの山頂に施設があり、高台からは、草津白根と浅間山が一望できます。園の始まりは、同町の日帰り温泉施設「大滝の湯」の辺りに湯の沢集落がありました。ハンセン病の湯治で集まっていた湯治客や湯治業を営んでいた罹患者が国の隔離政策により町の東側へ移住したことがはじまりです。住民達のお金で湯畑（右端の樋は、栗生楽泉園用です）から温泉や水源を引き、家を建て、集落の生活をそのまま移す形で作られています。（写真の赤丸は、園専用の樋です）一部の入所者は強制的に収容されていますが他のハンセン施設12園に比べると成り立ちが全然違います。現在は、高齢化が進み入所者の数が32名（2024年3月現在）となりました。昨年創立90周年の記念式典が行われましたが、今後15年存続できるかわからない状況になってきています。入所者が建てた住居は、今は数軒しか残っていませんが、敷地は園内散策できるようにきれいに整備されています。入所者の皆さんは、おおらかで外部から来た異動者も快く受け入れてくれる人達ばかりです。職員は、業務の合間に一緒にカラオケやボッチャ、ゲートボールを行い、入所者の余生をサポートすることが仕事となっています。園の附属施設として社会交流会館、国立ハンセン資料館の重官房資料館（園とは別事業者です）がありますので、草津温泉へ観光に来たついでに足を運んでください。冬以外はとても過ごしやすいところです。あと、草津町内には、複数の源泉があり、宿泊施設で湯畑源泉に入れる施設は意外と少ないのでご注意ください。ちなみに職員と官舎入居者は、更衣棟や官舎付属の浴場にある湯畑源泉に毎日無料で利用することができます。私は、湯畑源泉ロス状態のため週末に秦野市内にある3つのスーパ銭湯に浸かって気を紛らわしています。

今回の異動は、施設の仕組み（厚労省→NHO）、人数（3人→12人）、業務量も違い、この数週間は、戸惑

いと頭の切り替えが追い付かず目が回る思いで業務にあたっています。神奈川病院の職員には大変なご迷惑をかけながらの業務開始となりました。職員の協力を得ながら「自分にできることは何か」を模索し副技師長業務にあたりたいと考えております。

最後になりますが、神奈川地区会の皆さま方には、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「自己紹介」

NHO 神奈川病院 木村 葉



令和6年4月1日付で、滋賀県にある東近江総合医療センターから神奈川病院へ配置換えで参りました、木村 葉(きむら よう)と申します。

入職から昨年度までは近畿ブロックの姫路医療センターと東近江医療センターで勤務しており、今年度から関東信越ブロックでお世話になります。

神奈川病院では生理検査室を担当しております。近畿から神奈川へ引越しをして来たばかりで、業務や生活環境など慣れないことばかりですが、検査科の優しいスタッフの皆様に支えていただきながら、日々頑張っています。

前の勤務地である滋賀県はとても自然の豊かな土地で、病院の近くには山や畑はもちろん溪流や湖などもあり、夏は溪流釣りやドライブ、冬はスノボなどをして楽しんでいました。滋賀県は関東の方にはあまり馴染みのない場所だとは思いますが、観光スポットとして琵琶湖や比叡山などがあり、ゆるキャラのひこにゃんにも会えるので、ご興味のある方はぜひ遊びに行ってみてください。そして、神奈川病院のある秦野も自然豊かな場所なので、この機会に秦野の色々なアクティビティも楽しみたいと思っています。

私は食べることも飲むことも大好きなので、休日には神奈川の観光地を巡りつつ、おいしい食べ物やお酒なども徐々に見つけていければいいなと思っています。何かおすすめてあれば教えていただけると嬉しいです。これからどうぞよろしくお願い致します。

「自己紹介」

NHO 神奈川病院 大田 佳秀



令和6年1月より神奈川病院に採用となりました大田佳秀(おおた かほ)と申します。

実家は神奈川県横浜市なのですが、オンコール等あることから、官舎での一人暮らしも始めました。自炊なのでつい自分の好物や・手間のかからないものばかりを作りがちで、栄養面も考えて毎日の食事を用意するというのはとても大変だったのだなと母の偉大さを改めて感じる日々を過ごしています。

令和5年4月から12月までは東京医療センターにて非常勤職員として、主に検体検査の受付業務と採血業務に携わっておりました。

現在神奈川病院では主に生理検査を担当しております。生理検査では患者さん一人一人への適した接遇が求められる上に、検査の説明を分かりやすく伝えることの難しさを痛感しております。特に呼吸機能検査は、患者様に検査についてご理解いただいた上で行う必要があるのですが、先輩にアドバイスをいただきながら日々分かりやすい説明を模索しています。

まだまだ未熟者ゆえご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「自己紹介」

NHO 神奈川病院

齋藤 暦



令和6年4月1日付で神奈川病院へ採用となりました齋藤 暦と申します。

昨年まで高崎総合医療センターの非常勤職員として3年間、生理検査業務と採血室での業務に携わっていました。患者さんや周りの医療従事者ともすぐ仲良くなれてしまうほどコミュニケーション能力を高めてきました。

自己紹介させていただきます。私の出身は群馬県高崎市です。群馬といえば何もないと言われがちですが美味しいものがたくさん溢れています。食べることが好きな人にはもってこいの地です。機会があればぜひ立ち寄ってください。

また、私は多趣味でフットワークが軽いので、周りの方々からアクティブな人、パワフルな人、元気な人と言われています。主な趣味は、音楽鑑賞・ベースを弾くこと・ピラティス・バイク・愛犬たちを愛でること・ラテアート・カレー巡りなどです。

音楽は特にロックバンドが好きです。バンド好きが高じてベースを弾くようになりました。ライブやフェスに行くことも大好きです。

バイクは去年大型免許をとり、あまり乗らないまま異動になってしまいました。今年はバイクを手に入れていろんなところにツーリングしたいと考えています。

実家を出てきて一番さみしいことが犬を毎日愛でられないことです。実家ではトイプードルを多頭飼っています。みんなそれぞれ性格が違うので見ていて面白いです。月1回は実家に戻って癒されたいと思っています。

前施設では生理検査業務に携わっていましたが、今年から検体検査業務を任せられることになり、不安でとても胸がいっぱいですが得られた知識をスポンジのように吸収し、日々成長できるよう努力していきたいです。神奈川地区会の皆様どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。



NHO 久里浜医療センター

「自己紹介」

NHO 久里浜医療センター

齋藤 広樹

4月1日付で東長野病院より久里浜医療センター病院に昇任で臨床検査技師長として着任いたしました齋藤 広樹です。地元は神奈川で、職歴については東京病院からはじまり、霞ヶ浦医療センター、国立国際医療研究センター国府台病院、相模原病院、国立国際医療研究センター病院、東長野病院を経て久里浜医療センターで7施設目となります。



前施設の東長野病院では3年間過ごしましたが、初めて関東から離れたうえでの単身生活だったため今までにない経験をたくさんしました。長野の冬はとても厳しく、特に雪に慣れていないため生活面ではとても苦労しました。東長野病院は部署を問わず暖かい方が多く、いつも助けてもらってばかりでしたが良い経験をしたと思っています。



4月より久里浜医療センターでの生活が始まりましたが道路を挟んで海というとても素晴らしい環境下にある施設で、生まれ育ったこの神奈川で学生時代夜な夜な意味もなく134号線を車で走っていたことを思い出しました。まさかこの年になって神奈川の海の近くで波の音で眠に入る生活になるとは思ってもみなかったもので、今は少しエモい気持ちになっています。

神奈川地区会の文化活動は集合型で行う予定と聞きましたので、その際はぜひ参加しようと思っています。神奈川地区会の皆様方とお会いできることを楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



NHO箱根病院

「自己紹介」

NHO 箱根病院 西 洋平



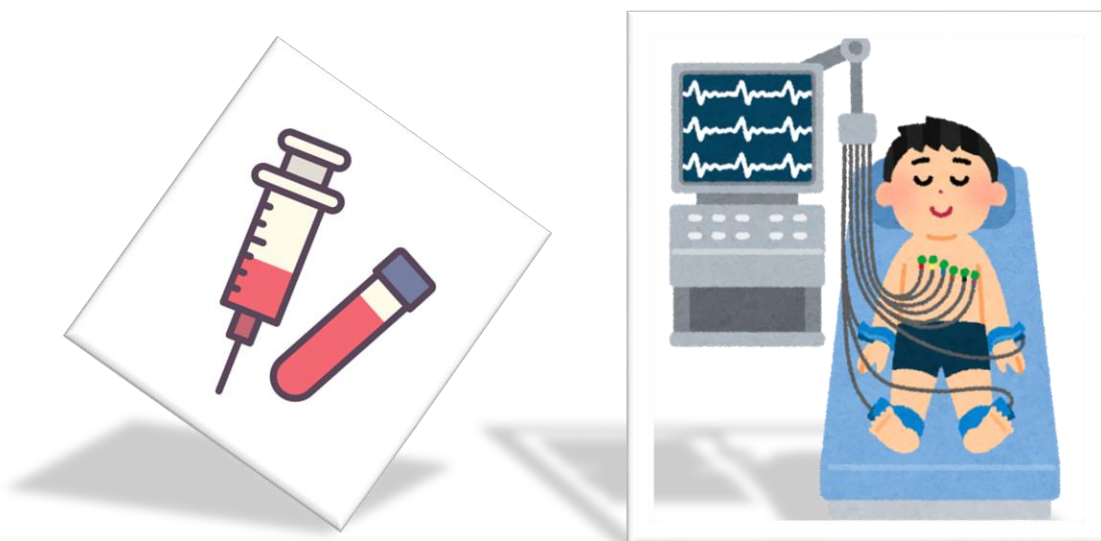
初めまして、令和5年度9月1日付で箱根病院に採用となりました西 洋平です。臨床検査技師の国家試験に合格したのち、国立成育医療研究センター病院の非常勤職員として1年程ほど輸血検査と細菌検査業務に携わってきました。細菌検査はグラム染色の鏡検を、輸血検査は血液検査・交差試験・不規則抗体スクリーニングおよび同定検査などを学んできました。

昨年の7月初めに箱根病院への異動と聞くまで、箱根にNHOの病院があることを知らず驚いたことは今でも覚えています。異動先を当時の上司と同僚に報告したところ、箱根という地名で大変羨ましがられました。自分も逆の立場なら羨ましく思う自信があります。

現在は検体検査・採血業務に加え、最近では心電図も学んでおります。箱根病院では細菌検査は外注に発注し輸血検査も月に数回程度と今まで学んだことを活かす機会は少ない一方、臨床検査技師として幅広く業務を行うためのトレーニングになると思い、日々勉強中です。現在の目標は広く浅く業務を行うこと、緊急臨床検査士と二級臨床検査士の資格取得を目指しております。

今回の異動に伴い、小田原市で一人暮らしを始めました。箱根はもちろん西側に向かえば熱海や伊豆、東に向かえば湘南とレジャーにも恵まれた土地です。学生時代はスキューバダイビングをしていました。ここ数年行く機会は皆無でほぼ初心者同然ですが、海の近くに引っ越してきたのでもう一度潜れるといいなと思う今日この頃です。

臨床検査技師として今後経験・知識・技術の一つずつ吸収していく所存です。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



施設のトピックス

NHO 相模原病院

NHO 相模原病院

瀧澤 光彦

皆さんが相模原病院と聞いて、まず思い浮かぶのはリウマチ・アレルギー検査だと思います。その中でも今回は「アレルギー検査」について当院の現状を紹介していきたいと思います。

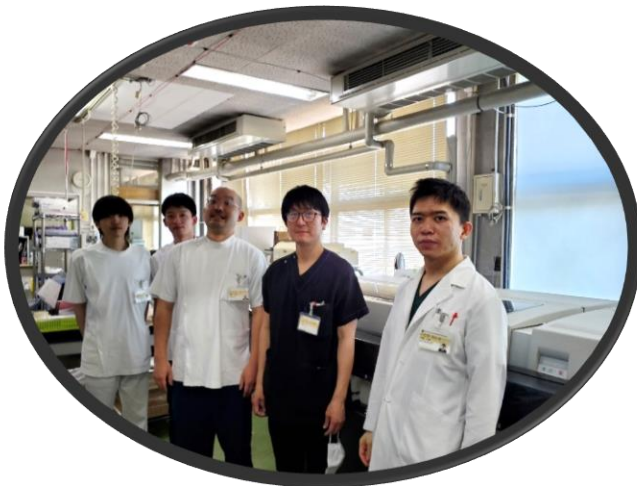
相模原病院はアレルギー疾患対策基本法に伴い国の中心拠点病院を担っていますが、実は2020年までアレルギー検査を外部委託していました。外部委託していた経緯としてコストパフォーマンスの悪さが主な原因と聞いていましたが、技師長をはじめ諸先輩方のご尽力により超低価格のランニングコストを実現し、2021年1月より非特異的IgEと特異的IgE125項目に加え研究対象として14項目の院内導入を開始しました。

2022年はアレルギー研究に関わる治験にも携われるようになり、中心拠点病院としての役割は担えたとスタッフ一同喜んでいます。

2024年4月現在は、年間件数の少ない31項目を外部委託へ移行し無駄のない試薬管理を行い、コスト削減に努めています。

アレルギー検査開始当初は3名で業務を行っていましたが、今では5名のスタッフがアレルギー検査を行えるようになり、小児アレルギー検体が爆発的に増加する学童の春休み、夏休み期間を乗り越えています。今後も人事異動でスタッフの入れ替えがある中で、アレルギー検査を含め横断的業務強化を常に意識していきたいと考えています。

アレルギー検査に少しでも興味がある方は是非、相模原病院に転勤希望はいかがでしょうか。



NHO 横浜医療センター

NHO 横浜医療センター

播井 美由紀

横浜医療センターは、戦前に戸塚海軍病院として設立され、戦後には国立戸塚病院として発足し、更に国立横浜病院に名称変更の後、国立横浜東病院と統合し、2004 年に独立行政法人国立病院機構横浜医療センターとして現在に至っております。病床数 510 床の急性期医療を中心とした地域医療支援病院で、32 診療科すべてで標準的医療を提供できる技術力を備えています。また、救急現場出動のほか災害派遣医療チーム（DMAT）の一員としても活動しており、地域医療を通常期だけでなく非常時にも支えています。

私が担当する臨床検査科・病理検査室は 2023 年 7 月に電子カルテの更新に伴いインテック社の病理検査支援システム Expath（エクスパス）が導入され、更なる業務の効率化とインシデントの抑制、トレーサビリティの確保など高度化する病理検査に対応しています。更に、2024 年 4 月にロシュ・ダイアグノスティックス社の自動免疫染色装置ベンチマーク ULTRA PLUS が導入されました。こちらは脱パラフィンから対比染色までの工程が自動化、30 個の独立したスライドドロワーを備えているため、バッチ処理の必要が無く、検体をそれぞれのドロワーにセットして、別々のプロトコールにより染色するランダムアクセスが可能であることから、作業時間の軽減につながる事が期待できます。

また、当院は 2024 年 4 月に「神奈川県がん診療連携指定病院」として指定を受けました。がんを巡る治療法は近年目覚ましい進歩を遂げており、特に遺伝子検査（コンパニオン診断）などの「がん個別化医療」が大きく発展しています。それに伴い、遺伝子検査における病理組織検体の重要性が増し、その精度管理に携わる病理検査室の責務は大きくなっています。今後も技術進歩に対応できるように努めていきたいと思います。



NHO 神奈川病院

NHO 神奈川病院

山崎 直樹



令和 5 年 11 月 3 日に「秦野市民の日」が開催されました。秦野市カルチャーパークで、約 220 のブースが立ち並び、飲食店や物品販売はもちろん各種展示や啓発、相談など多種多様に行われました。

例年 10 万人超の人出を見込んでいるようで、近隣住民の秋の大きなイベントです。

当院も 4 年ぶりに参加をいたしました。医師による健康相談、薬剤師によるお薬相談など行いましたが、一番人気はポータブルの超音波機器を使った動脈硬化測定でした。当院の臨床検査技師 2 名が頸動脈エコーを操作して簡易的に判断、撮ったエコー写真はプリントアウトしてお渡ししました。途切れることなく並ぶ盛況ぶりで、途中でバッテリーが 2 回も切れてしまうほどでした。検査を受けられた方にお話を伺うと、ちょうどかかりつけの先生に動脈硬化の疑いがあるので超音波検査を受けるようにと言われたが、どこの病院に行けばいいのかわからず困っていたそうです。検査結果は「特に異常なし」ということで喜んで帰って行きました。お子様連れの方々にも喜んで頂けるよう子供用のミニ白衣撮影会やバルーンアートも行いました。15 時の終了まで沢山の方々に来ていただき、大盛況の一日となりました。この活動が患者獲得に繋がればと考えています。

皆さまも宜しければ今年、当院ブースまで足をお運び下さい。



NHO 久里浜医療センター

NHO 久里浜医療センター

足立 裕美



今年もこんにちは、久里浜医療センター三年目のお子様技師が施設紹介します。最近では地震が多く当院でも断水や停電が起きていろいろと不安はありますが、検査室から見える海はとてもきれいで、たまに見える空母はかっこいいです。

施設のトピックスで個人的なビッグニュースといえば、数年前から施設紹介で何度もお伝えしていた生理検査室の雨漏りがついになくなったということです。しかし、新たに検体検査室近くの階段、2階と3階の踊り場の窓から雨漏りが発生しているがわかりました。残念ながら大雨の日は階段が水浸しになってしまい、施設の老朽化による雨漏り問題はなかなかなくなるものなのです。

もちろん良いトピックスもあります。まず、生理検査室にある血液ガス測定機器が新しくなりました。コンパクトサイズで場所も取らず、使いやすくなりました。また、検体検査室はいろいろなところが変わりました。検査室内の細かい部分の模様替えをして、輸血製剤用の冷蔵庫と検体保存用冷蔵庫、採血管等の保管棚も新しくなりました。

今年もおNewいっぱい嬉しいです。ですが、昨年から現在まで生理検査室も検体検査室も変わった部分が多く少し落ち着かないので、早く慣れるといいなと思っています。



NHO 箱根病院

NHO 箱根病院 西 洋平

こんにちは、箱根病院に勤めて約半年の西です。自己紹介に続き施設紹介をしたいと思います。当院の歴史と検査室について簡単に紹介できればと思います。

明治 40 年廃兵院法(明治 39 年 4 月法律第 29 号)に基づき陸軍省所管の廃兵院が東京予備病院渋谷分院の一画に設置された。その後移転法改正による移管があり、昭和 11 年神奈川県足柄下郡大窪村大字風祭(現在の小田原市風祭 412)に傷兵院が移転した。この傷兵院がのちの NHO 箱根病院となる。戦前は戦傷脊損患者を収容した全国唯一の戦傷脊損療養所であった。この時建てられた木造 2 階建ての本館は現在も残っている。太平洋戦争が終結してからは広く国民の脊損医療を担当する施設となりました。現在では進行性筋ジストロフィーなどの筋疾患、筋萎縮性側索硬化症(ALS)・脊髄小脳変性症・パーキンソン病などの神経変性疾患、遺伝性ニューロパチーなどを中心とした神経筋の疾患専門の病院となりました。

当院の検査室は生理機能検査で心電図・呼吸機能検査・脳波検査・簡易 PSG を、検体検査では生化学・血算・血液ガス・尿検査・凝固検査・抗原検査や COVID-19 の PCR など幅広く行っております。検査室内にて外来患者さんの採血をルーチン業務の合間に行うため、検体検査・生理機能検査ともに未経験だった自分は熊野主任や若林技師長にご指導頂いている毎日です。また筋電図検査のため先生方が毎日のように検査室に訪れます。当院の先生は穏やかな性格の方が多くアットホームな環境です。この職場で小さいことからコツコツと頑張っていきたいと、子のトピックスを書きながら考えております。



国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成 06 年 03 月 05 日 施行
平成 17 年 02 月 26 日 一部改訂
平成 20 年 03 月 01 日 一部改訂
平成 21 年 03 月 07 日 一部改訂
平成 22 年 10 月 30 日 一部改訂
平成 24 年 04 月 01 日 一部改訂
平成 27 年 11 月 14 日 一部改訂
令和 02 年 10 月 30 日 一部改訂
令和 03 年 10 月 15 日 一部改訂

(名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局長 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

(職務)

第 8 条 役員の職務は次の通りとする。

- (1)会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2)事務局長は、本会の会務を司る。
- (3)会計は、本会の会計を担当する。
- (4)理事は、各会務を担当する。
- (5)会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員の選出)

第9条 役員の選出は次の通りとする。

- (1)この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2)この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。
- (3)この会の事務局長・会計は、理事会で互選する。
- (4)この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設になった場合は理事会の協議により認めることができる。

(役員の任期)

第10条 役員の任期は、1ヵ年とするも再選を妨げない。

(役員の補充)

第11条

- (1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。
- (2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

- (1)総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。
- (2)理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。
- (3)災害等により集合型の総会が開催できない場合は、状況により書面決議等による総会を開催する事ができる。

(会計)

第13条

- (1)この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。
- (2)この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。
- (3)この会の会計は、総会において会計報告及び会計監査報告をする。
- (4)この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

- (1)この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。
- (2) 行動費として500円支給する。

(付則)

- (1)この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。
- (2)この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。

順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。

ただし、理事会の協議により変更することができる。

第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。

第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。

理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。

第4条 大規模施設等（相模原、横浜）からは複数名選出することができる。

神奈川地区会会員名簿

令和6年6月1日現在

● NHO 相模原病院

武山 茂
池田 和典
山本 伸晃
鈴木 芳明
川口 港
柳 進也
安田 秀平
瀧澤 光彦
品田 祐希
手塚 好之
朝比奈大輔
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
幡野 廣樹
錦織 春菜
田中 敬涼
逸見 桃香
小林 大暉
水永 ちひろ
中山 佳苗
村上 夏美
小林 史佳
小林 稜弥
山口 洋輝
西村 太志
伊藤 大樹
下山 夢結
長浜 優衣

● NHO 横浜医療センター

吉田 茂久
磯 敬
齊藤 友永
竹内 智也
播井 美由紀
井田 貴明
木村 元紀
外川 靖士
呉屋 薫
藤原 由貴乃
野中 照美
佐久間みゆき
高橋 千尋
中井 敦子
秋山 卓思
宮川 真名実
新本 恵理香
大森 衣里子
高橋 美樹
森 真衣子
良井 亜美
安中 美華
戸塚 美穂
上田 大晴

● NHO 神奈川病院

瀬戸 茂誉
古江 裕志
青木 正哉
山崎 直樹
大木 仁
木村 葉
大田 佳秀
齋藤 暦

● NHO 久里浜医療センター

齋藤 広樹
屋代 達
水野 正浩
近藤 南
足立 裕美

● NHO 箱根病院

若林 弘
熊野 寿世
早川 真奈美
西 洋平

神奈川地区会会報誌 第74号

発行：武山 茂
編集：屋代 達
青木 正哉
川口 港
呉屋 薫
大森 衣里子
西 洋平